

メーカー: スズキ

車種名: ソリオバンディット

管理No: E604200B

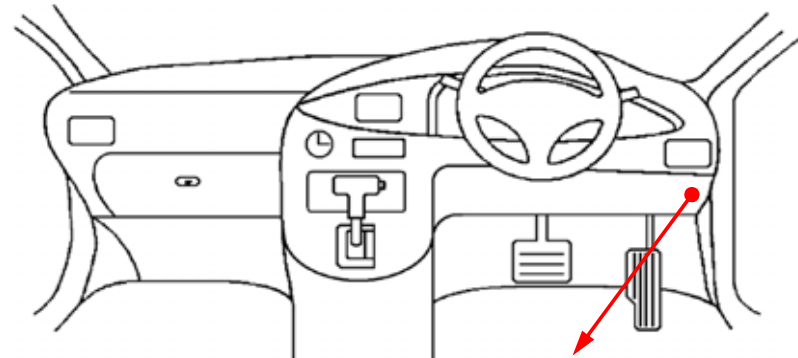
年式: H24 / 06 ~ H25 / 11

車体型式: MA15S

更新日: H26 / 01

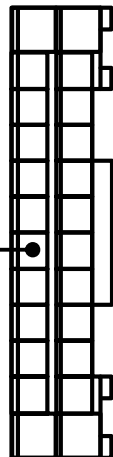
**プッシュスタートアダプター「PS91」の取付
手順は、次ページ以降をご覧ください。**

この情報は都度変更されますので、お取り付け
の前に必ず最新情報をご確認ください。
『 <http://www.mskw.co.jp/engsta/> 』



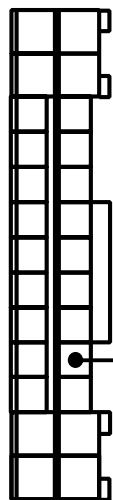
L端子配線(灰色線)

灰色24Pカプラ



ドアスイッチ配線(茶色線) 必ず配線してください。

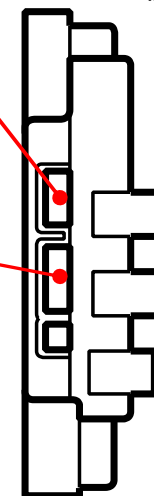
灰色26Pカプラ



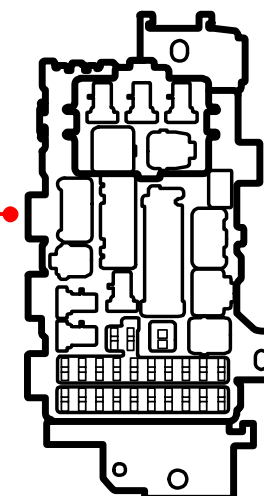
黒 / 黄
(運転席のみ)

カプラは、両方共にJ/Bの裏側についているBCMの側面にあります。作業をする際には、J/Bを固定しているナットを外す必要があります。

BCM & J / B側面



BCM & J / B



注: カプラの配線は、ハーネス側から見た図です。
グレード、オプション装着状況等により、車体側配線色やカプラの位置等が異なる場合があります。
その場合は、本体添付の取付説明書に従って、接続先を探してお取り付けください。

メーカー： スズキ

車種名： ソリオバンディット

管理No： E604200B

年式： H24 / 06 ~ H25 / 11

車体型式： MA15S

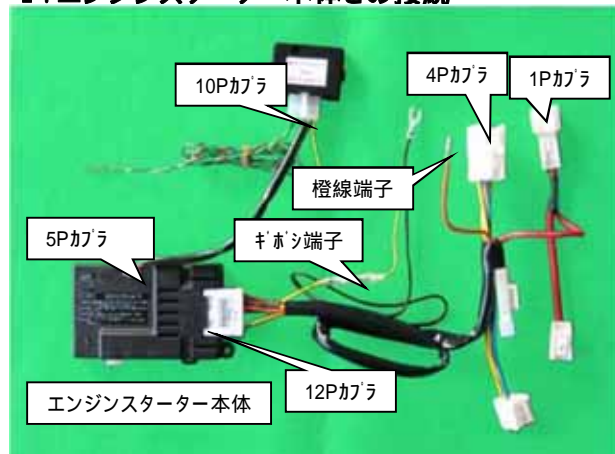
更新日： H26 / 01

以降は、プッシュスタートアダプター「PS91」の取付手順です。

1. 構成

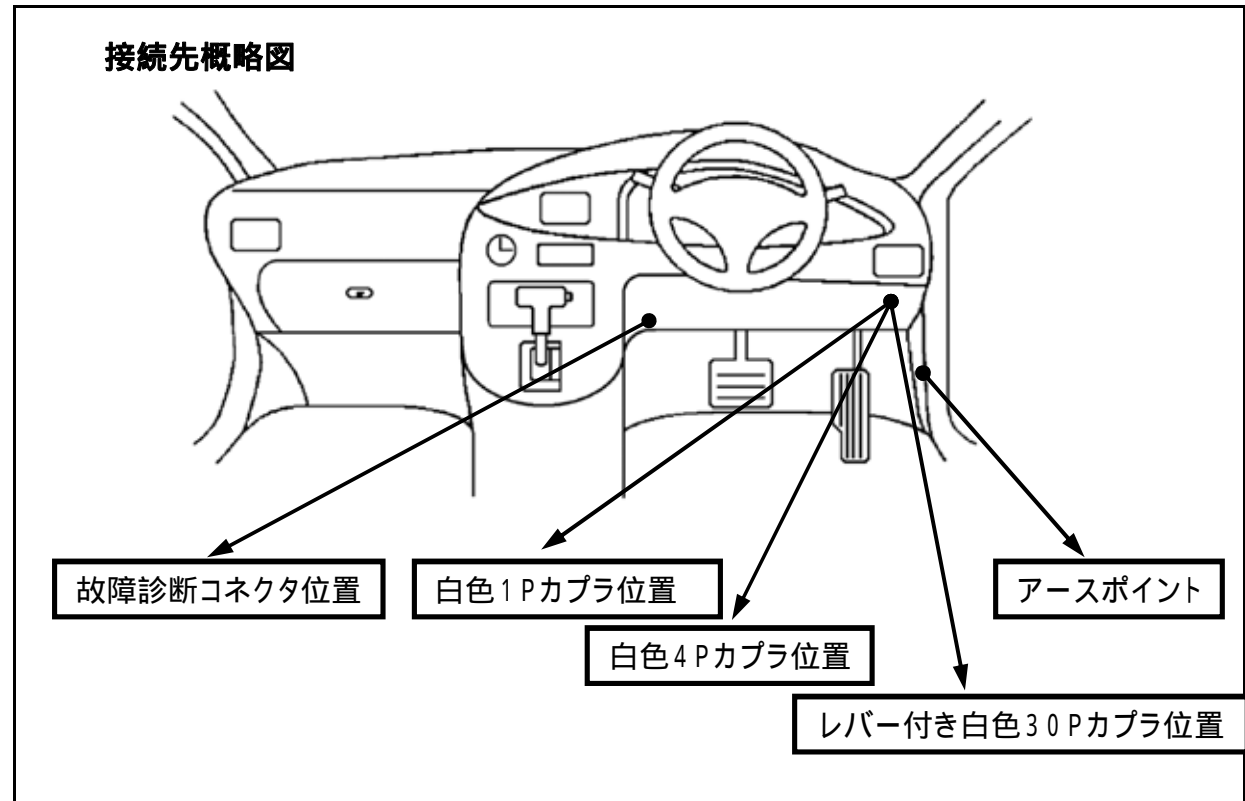


2. エンジンスタート本体との接続



5Pカプラ差込口には黒色テープが貼ってありますので、はがしてから接続してください。

接続先概略図



メーカー： スズキ

車種名： ソリオバンディット

管理No： E604200B

年式： H24 / 06 ~ H25 / 11

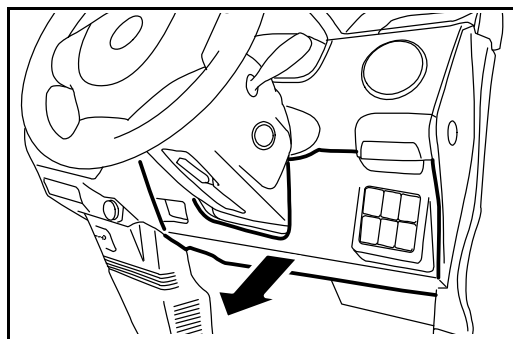
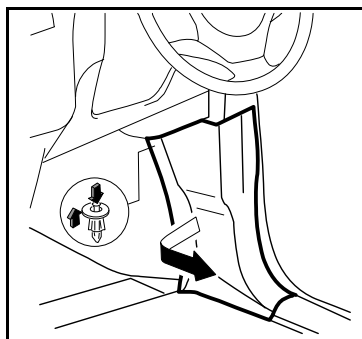
車体型式： MA15S

更新日： H26 / 01

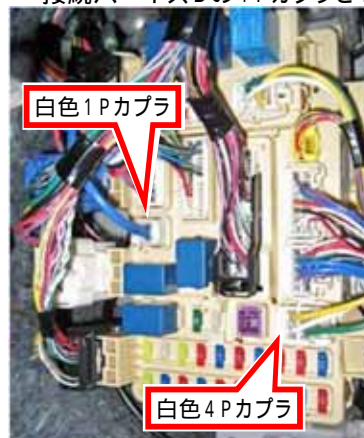
3. 車両への接続 (接続先は、2 / 6 ページの接続概略図をご参照ください)

サイドトリムを外します。

カバーを外します。

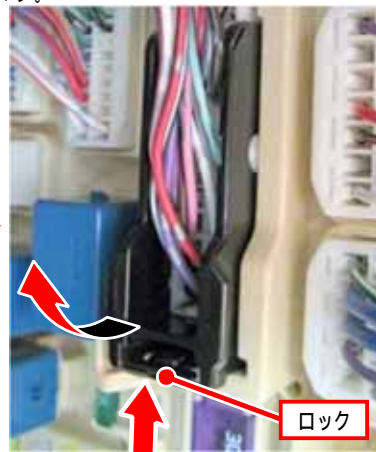
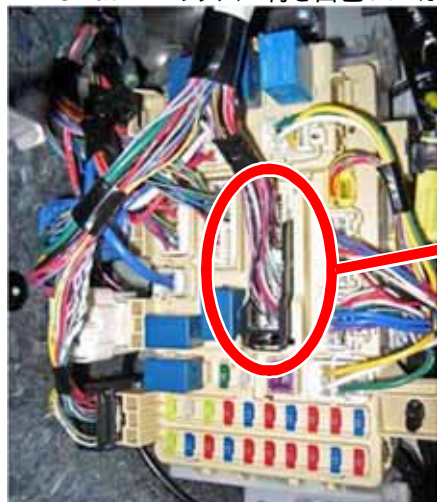


運転席足元右側にあるBCM&J / Bの白色1Pカブラと、白色4Pカブラに接続ハーネスBの1Pカブラと4Pカブラを割り込み接続します。



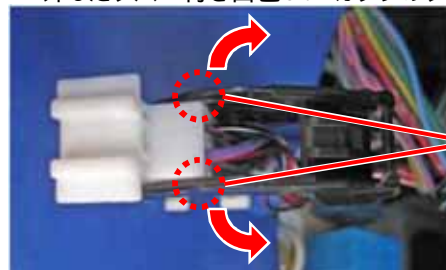
注意：白色1Pカブラを外すとオーディオの時計やメモリーがリセットされる場合があります。必要なメモリー内容は、あらかじめメモを取り作業してください。

BCM&J / Bのレバー付き白色30Pカブラを外します。



ロックを押しながらレバーを引き上げカブラを外します。

外したレバー付き白色30Pカブラのレバーを外します。



レバーの両側を広げ、カブラのツメから外し、レバーを起します。



レバーを起こした状態



メーカー： スズキ

車種名： ソリオバンディット

管理No： E604200B

年式： H24 / 06 ~ H25 / 11

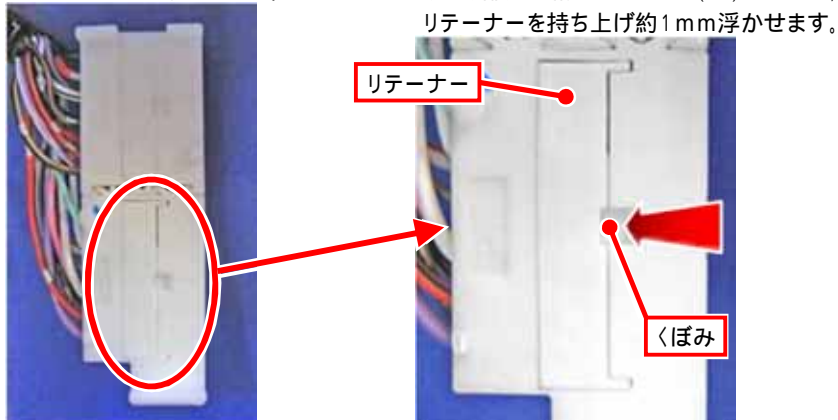
車体型式： MA15S

更新日： H26 / 01

軸の形状とレバー穴の形状を合わせ、
レバーを広げてレバーを外します。

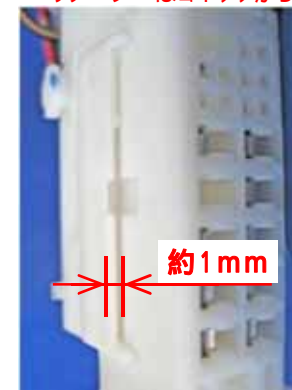


下段側(車両取付状態)の
リテーナーを浮かせます。



くぼみ部分に精密ドライバー(-)等を入れ、
リテーナーを持ち上げ約1mm浮かせます。

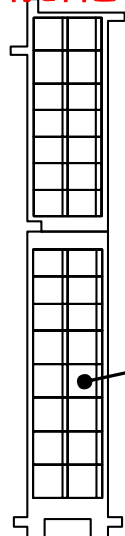
リテーナーを約1mm浮かせた状態
リテーナーはコネクタから外れません。



接続ハーネスBの橙線の先端についている
保護チューブを外し、橙線端子を下写真の
位置(空き端子)に差し込みます。



橙線端子の挿し込み先 (レバー付き白色30Pカプラ)



橙線端子の
差し込み位置

空き端子

- ・端子の向きを合わせて差し込んでください。向きが合っていないと差し込めません。
- ・端子がロックするまで差し込み、軽く引っ張り端子が抜けないことを確認してください。

リテーナーを押し込み元に戻します。



端子が奥まで差し込まれていない
場合は、リテーナーを押し込めません。
端子の差し込みを確認してください。

レバーを外した手順と逆の手順で取り付けます。



レバー付き30PカプラをBCM&J/Bへ取り付け
ます。

メーカー： スズキ

車種名： ソリオバンディット

管理No： E604200B

年式： H24 / 06 ~ H25 / 11

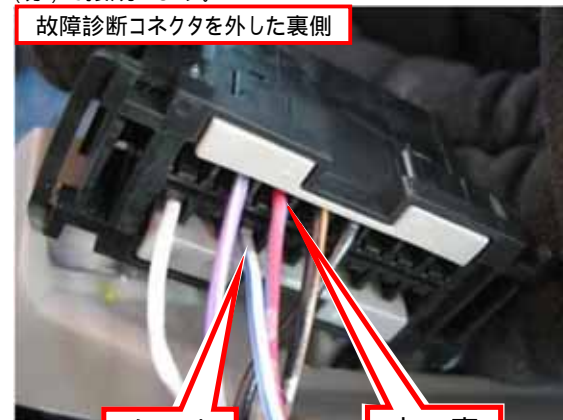
車体型式： MA15S

更新日： H26 / 01

接続ハーネスBのアース線をアースポイントへ接続します。



接続ハーネスAの緑線と茶線を付属のエレクトロタップ(赤)で接続します。



故障診断コネクタを外した裏側

接続ハーネスAと接続ハーネスBの黄線ギボシ端子を接続します。
(2 / 6 ページ「2. エンジンスターター本体との接続」の図を参照)

接続ハーネスAの5Pカプラをエンジンスターター本体上面の黒シールをはがして接続します。
(2 / 6 ページ「2. エンジンスターター本体との接続」の図を参照)

接続ハーネスAの半透明10PカプラをPS91本体に接続します。
(2 / 6 ページ「2. エンジンスターター本体との接続」の図を参照)

エンジンスターターの「取付・取扱説明書」に従い、ドアスイッチ配線をします。

接続ハーネスBの白色12Pカプラをエンジンスターター本体に接続します。
(2 / 6 ページ「2. エンジンスターター本体との接続」の図を参照)

4. プッシュスタートアダプターの登録

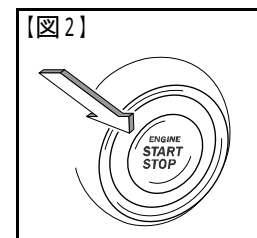
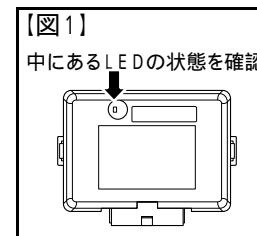
エンジンスターター本体に車種別接続ハーネスを接続すると、エンジンスターター本体から断続音が鳴ることがありますが、オートマチック車の登録を行わず、そのままプッシュスタートアダプターの登録作業を行なってください。

「3. 車両への接続」に従い接続を行なうと、プッシュスタートアダプター本体のLEDが約3秒間点灯し、その後遅い点滅に変化します。(【図1】参照)

LEDが遅い赤点滅に変化したことを確認し、フットブレーキを踏まずにエンジンスイッチを2回押し、IGをONにします。(【図2】参照)

LEDが速い赤点滅に変化し、その後約3秒間点灯し消灯します。(【図1】参照)

エンジンスイッチを押しOFFにします。(【図2】参照)



メーカー： スズキ

車種名： ソリオバンディット

管理No： E604200B

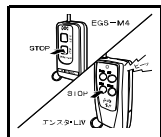
年式： H24 / 06 ~ H25 / 11

車体型式： MA15S

更新日： H26 / 01

5. オートマチック車の登録

エンスタ・L、EGS-M4の場合
リモコンのSTOPボタンを押します。
(このとき本体から「ブーッブーッ…」と断続音がします)



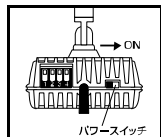
シフトレバーをRレンジからPレンジへ戻します。
(本体からの断続音が「ブブブブ…」へ変化します)



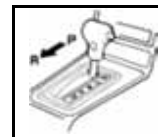
フットブレーキを踏みエンジンスイッチを押します。(エンジン始動)
(本体からの断続音が「ブブブブ…」と鳴り、音が消えます)



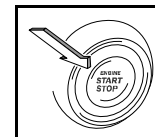
エンスタ・Z、EGS-W5/W6の場合
アンテナユニットのパワースイッチをONにします。
(このとき本体から「ブーッブーッ…」と断続音がします)



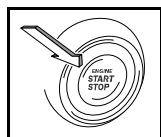
再度シフトレバーをPレンジからRレンジへ動かします。
(本体からの断続音が「ブブブブ…」へ変化します)



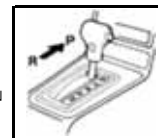
エンジンスイッチを押し、エンジンを停止します。



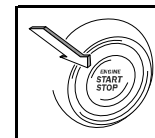
フットブレーキを踏まずにエンジンスイッチを2回押します。(IG ON)
(本体からの断続音が「ブブブブ…」へ変化します)



シフトレバーをRレンジからPレンジへ戻します。
(本体からの断続音が「ブーッブーッ…」へ変化します)



エンジンスイッチを押し、エンジンを停止します。



フットブレーキを踏みシフトレバーをPレンジからRレンジへ動かします。
(本体からの断続音が「ブブブブ…」へ変化します)



以上でオートマチック車の登録は終了です。

6. 使用方法

リモコン始動

エンジンスターターの説明書に準じてリモコン操作を行ない、エンジンを始動します。携帯リモコンを車両の通信圏外に置いた状態でリモコン操作をしてください。
エンジンスターター始動中は、オーディオ・ナビゲーション等、一部の電装品は動作しません。

ドア開検出

運転席ドアを開けたときにエンジンが止まることを確認してください。ドアをロック(施錠)せずにリモコンでエンジンを始動して確認ください。

注意：エンジンスターター始動中やターボタイマー作動中は、携帯リモコンまたはキーレスによるドアのロック(施錠)・アンロック(開錠)は出来ません。

リモコン操作にてエンジンを停止してから、ドアのロック(施錠)・アンロック(開錠)を行なってください。

なお、車両のセキュリティシステム作動中にエンジンスターターでエンジンを始動し、メカニカルキーにてドアのアンロック(開錠)を行ない、ドアを開けると警報が鳴ります。セキュリティアラームを「警報なしモード」に設定してある場合は、エンジンスターターでエンジンを始動し、メカニカルキーにてドアのアンロック(開錠)を行ない、ドアを開けても警報は鳴りませんが、必ずドア配線を行ないドアを開けるとエンジンが停止するようにしてください。